

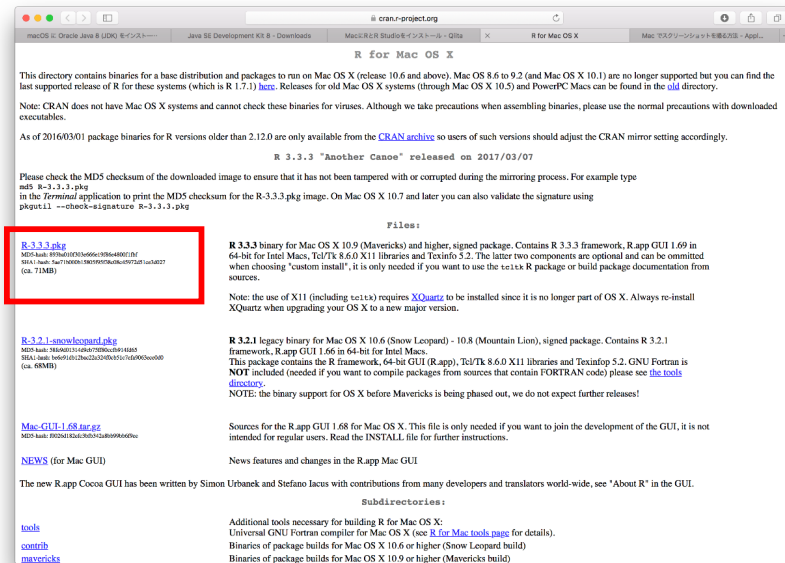
## Mac 版の R のインストールと環境設定 (2018/3/19) (MAC OS-X 用)

### 1. R をインストール (バージョンは最新版を利用する。以下の説明でも読み換える)

(1)以下のサイトで Mac 用の R のインストーラをダウンロードする。

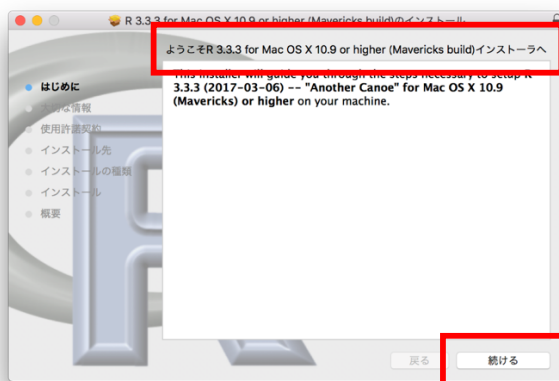
(以下は R-3.4.3 で説明) (2018/3/15 にバージョン 3.4.4 が公開されています)

<https://cran.r-project.org/bin/macosx/>



(2)インストールした R-3.4.3.pkg を起動する。(バージョンは OS に対応するものを利用)

「ようこそ R-3.4.3 for Mac OS X 10.9…」の画面が出るので「続ける」を選択



- ・「大切な情報」の画面が出現するので、「続ける」を選択
- ・「使用許諾契約」の画面が出現するので、「続ける」を選択、続いて「同意する」を選択
- ・「～～に標準インストール」の画面が出現するので、「インストール」を選択
- ・インストール先として「～～HD」を選択する (パスを通せる場所ならどこでもいい)
- ・選択できたら「インストール」を選択すると R がインストールされる。

## 2. rJava と arules (相関ルール) のインストールを行う

- アプリケーションフォルダ内の R をダブルクリックして起動する.
- R のコマンド入力として `install.packages('rJava')` を実行する.
- ミラーサイトの選択は、特に意味はないが、Japan を選択する。  
(索引が〜〜というエラーが出て失敗する場合は、USA などを選択するとうまくいく)
- R のコマンド入力として `install.packages('arules')` を実行する.
- R のコマンド入力として `library()` を入力、実行し rJava および arules がインストールされているか確認する.

## 3. ライブラリファイルをコピーする

- `/Library/Frameworks/R.framework/Versions/3.4/Resources/library/rJava/jri` にある、2つのファイル、「JRI.jar」「libjri.jnilib」を、TETDM のフォルダ内直下にコピーする.

• 「JRI.jar」ファイルを解凍するために、ターミナルを起動して `cd` で TETDM フォルダ に移動して、コマンド `jar xf JRI.jar` を実行する.

- 解凍により「org」フォルダが生成されているのを確認する。  
(解凍後は TETDM フォルダ内に「JRI.jar」ファイルは不要)

## 4. rJava の環境設定

ホームディレクトリにある設定ファイル、`.bash_profile` に以下の記述を追加して、環境変数 `R_HOME` と R 実行のためのパスを設定する.

```
export R_HOME=/Library/Frameworks/R.framework/Versions/3.4/Resources
R=$R_HOME/bin/
export PATH=$R:$PATH:./
```

(すでに `PATH` の設定がある場合には、`$R` をどこかに入れる)